NEWS23　週刊報告　創刊特別号　詳細版(中)

対象番組：NEWS23(TBS)　　対象期間：11/1(水)～11/30(木)
中巻の対象期間：11/13(月)～11/20(月)

テレビ局： TBS	番組名：NEWS23	放送日：2017 年 11 月 13 日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：特になし		

報道内容要旨

・愛媛県で、当て逃げの暴走車と警察が白昼の市街地でカーチェイス
・板門店で北朝鮮兵士が亡命、軍事境界線で北朝鮮側から銃撃
・千葉県、台風 21 号による高潮の被害で漁に悪影響
・【世界はイマ】中国「独身の日」
・日中首脳会談　安倍総理・習近平・李克強
習近平の笑顔の背景に選挙に加えて経済、外交が共通課題
・ドゥテルテ大統領、歌う　　トランプ大統領の要請だったと弁明
・神奈川県座間市、９人遺体事件
・群馬県でブランドショップ連続窃盗
・イラン-イラク国境の地震
・岩手県陸前高田町、「奇跡の一本松」から楽器や衣装が作られニューヨークでコンサート
・スペシャル対談：高梨沙羅×吉田沙保里
・スポーツ報道
・東京都利島村で 33 年ぶりの村長選挙、五票差で現職再選

検証報告（放送法第 4 条の見地から）
特になし

「印象操作」に関する所見（最高裁判例の見地から）
特になし

検証者所感
特になし

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23　週刊報告　創刊特別号　詳細版(中)

テレビ局：　TBS	番組名：NEWS23	放送日：2017 年 11 月 14 日

出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙

検証テーマ：加計学園問題、国会質問時間

報道内容要旨

・日馬富士の暴行事件

・希望の党、小池都知事が代表辞任

・加計学園問題

　スタジオでは国会質問時間についても言及

・ノルウェーで子供が大型トラックによる交通事故にあいかける

・北朝鮮の亡命兵士、境界線で 5 箇所打たれ意識不明の重体

・韓国、イ・ビョンギ元国家情報院院長（元駐日大使、慰安婦合意にも関与）

・老人ホームで殺人事件、老人ホームの元職員を逮捕

・キムヨナさん、国連本部でピョンヤン五輪中の休戦を訴え、休戦決議案が採択

・安倍総理、外遊を終えて記者会見。北朝鮮問題

・スポーツ問題

・天気予報

・「核のゴミ」説明会で NUMO が委託した会社が謝礼を前提に参加を要請

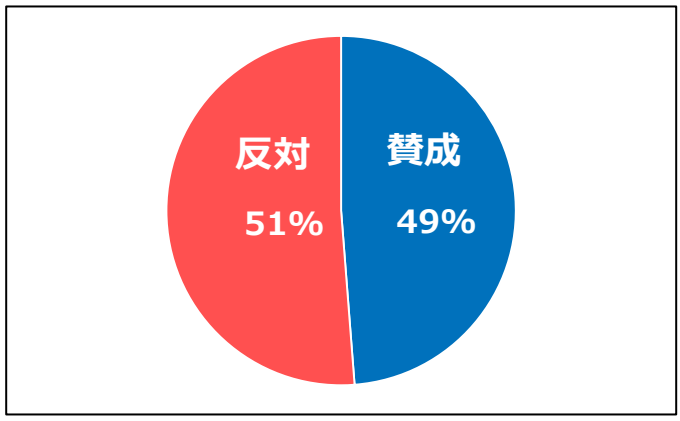
なお、謝礼は実際には支払われなかった模様

検証報告（放送法第 4 条の見地から）

・加計学園問題

　加計学園の獣医学部新設について肯定的な意見を「賛成」、否定的な意見を「反対」として集計した。賛否の時間配分及び比率は以下の通りである。

　賛成：119 秒、反対：125 秒、また、どちらでもない場面が 144 秒あった。



　賛成意見は林芳正文部科学大臣の見解や受験生のコメントであり、特に受験生のコメントでは「チャンスが増

放送法遵守を求める視聴者の会

えるからよい」「忖度だなんだというのはそもそも気にしていない」という声があった。対して、反対意見は専門委員(匿名)や北海道大学獣医学研究院の稲葉睦教授のコメントが紹介され、プロセスについてやカリキュラム・教育体制についてのものが多かった。

時間配分についても賛否のバランスが良く、また実際に新設された獣医学部に進学する可能性のある受験生の声を拾うというのもあり、放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」や同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という観点からは高く評価できる構成だったといえる。

・国会質疑時間配分

国会の質疑時間配分についての自民党若手議員からの提案に対して肯定的な意見を「賛成」、否定的な意見を「反対」として集計した。賛否の時間配分は以下の通りである。

賛成：0 秒、反対：63 秒、なおどちらでもない場面が 24 秒あった。

スタジオで言及されたトピックであるが、竹下登総理（当時）の「可能な限りこの少数意見に耳を傾けると申しますか、野党の皆さん方に時間を差し上げるというのが私どもが教わって今日まで守っているところでございます」という発言の映像を紹介した上で、星キャスターが「まぁこの問題はね、もともと与党分を増やせという自民党の要求にそもそも無理があったんですねちょうどわたくしが総理官邸の担当で取材している頃でしたね、与党の議員というのは法案作りや予算案作りにコミットしているのですからそこの部分は質問を野党に譲るのがど当然だろうという至極まっとうな意見」とコメントしていた。

しかし、今回の自民党の要求は 2012 年初当選組を中心とする若手から上がってきたものであり、こうした要求をしている側の言い分を紹介せずに、現在とは全く政治状況が異なる時代の政治家の発言を引用して批判だけする、というのはやや一方的であり、これは放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」に反する恐れがあり、また同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点でも不充分であるといえる。

「印象操作」に関する所見（最高裁判例の見地から）

特になし。

検証者所感

・国会質疑の時間配分について

今回の国会質疑時間配分見直しは自民党の 2012 年初当選組を中心に上がっている声であるのに対してスタジオで雨宮キャスターが紹介したのは竹下登元総理の VTR だった。竹下登元総理の時代は中選挙区制のもとで、常に政権与党にある自由民主党に対して野党第一党の社会党は衆議院選挙において定数の過半数候補を擁立しない、というのが常態であった。つまり選挙を通じた政権交代の可能性が極めて低い時代での発言である。

対して、現在は小選挙区で野党も政権交代を目指し、衆議院の過半数を超える候補を擁立する政党がある。

こうした選挙制度の違いや政界勢力図の違いを無視して、昔の自民党は〜〜だった、という議論は乱暴ではないだろうか。

また、竹下登元総理の「野党の皆さん方に時間を差し上げる」という発言があるが、「差し上げる」というの

では「本当は我々の時間であるが特別な配慮で譲っている」というニュアンスがある。であれば、状況が変わってくれば、この「差し上げる」という判断も変わり得るのであり、現状の自民党の要求についても「竹下さんの頃とは状況が違うのだから、本来の自分たちの時間も返してもらう」と理由付けも成り立ちうるのでは、と感じた。

NEWS23　週刊報告　創刊特別号　詳細版(中)

テレビ局：　TBS	番組名：NEWS23	放送日：2017 年 11 月 15 日

出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙

検証テーマ：加計学園問題

報道内容要旨

・日馬富士、暴行事件

・景気

「プチプラ（プチプライス)」

・加計学園審議

・トランプ大統領

　アジア歴訪で人権問題をスルー

・東急田園都市線、池尻大橋駅で停電の影響を受け一部路線で運転見合わせ

・シートベルトキャンセラーの販売業者を初摘発

　自動車会社のロゴを無断使用したため

・めぐみさん拉致から 40 年、川崎市内で横田夫妻が会見

・スポーツ報道

・天気予報

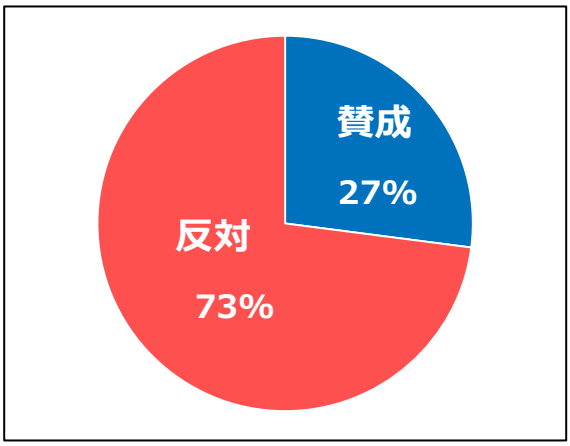
・韓国、統一試験が地震により延期

検証報告（放送法第 4 条の見地から）

・加計学園問題

　国会審議について与党による質疑を「賛成」に野党による質疑を「反対」として計測した。賛否の時間配分及び比率は以下の通りである。

　賛成：75 秒、反対：206 秒、なお、どちらでもない場面が 157 秒あった。



　なお、VTR で取り上げられていた質疑を行った議員について、与党は自由民主党で元文部科学副大臣の義家弘

放送法遵守を求める視聴者の会

介議員、野党は立憲民主党の逢坂誠二議員、希望の党の山井和則議員、日本維新の会の足立康史議員だった。

元々の国会質疑の時間配分が与党１対野党２であることから、その時間配分が VTR にも反映された形になったのであり、放送法四条の観点から特に問題があるとは言えない。

「印象操作」に関する所見（最高裁判例の見地から）

特になし

検証者所感

「与党議員が時間を持て余した」という与党幹部のコメントがスタジオで紹介されていたが、VTR を見る限りにおいては、義家議員の質疑は元文部科学副大臣として在任中に自分が答弁したかったようなことを引き出せるような質問をしていたような印象は受けたが、別段「時間を持て余している」という感じは受けなかった。

また、義家議員による質疑について「政府側の質問に当てるというより自身の主張を述べることに使いました」と VTR のナレーションでは評されていたが、そもそも、質問という行為自体が主張したいことについて根拠付ける材料探しの手段なのだから、材料が揃えながらの質問という形で主張を述べるのはそれほど奇妙なことではないように感じる。

日本維新の会の足立康史議員の「李下で冠を質した安倍総理に対して犯罪者たちが周りを取り囲んで非難しているというのが私は今の国会だと思いますよ」という質疑での発言について今回はスタジオでは取り上げられることはなかったが、波紋を呼びそうである。

NEWS23　週刊報告　創刊特別号　詳細版(中)

テレビ局： TBS	番組名：NEWS23	放送日：2017 年 11 月 16 日

出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙

検証テーマ：足立康史議員「犯罪者」発言

報道内容要旨

【報道内容要旨】

・日馬富士の暴行問題、鳥取県警今日にも事情聴取に
・大阪府の白骨死体が発見される事件
・ジンバブエの政情不安、ムガベ大統領、自宅に軟禁状態
・女性とお酒、業界提案「ほど酔い女子」
・足立議員「犯罪者」発言で波紋
・ナスカで新たな地上絵が発見
・うるま市のアメリカ軍属事件、裁判員裁判で殺意を否認
・韓国で統一試験延期
・スポーツ報道
・天気予報
・ダビンチの”幻の作品”史上最高 508 億円で落札

検証報告（放送法第 4 条の見地から）

・足立康史議員「犯罪者」発言

加計問題に関連して、石破四条件の石破茂元地方創生担当大臣や石破四条件を理由に加計問題を追求していた福山哲郎立憲民主党幹事長や玉木雄一郎希望の党代表らが獣医師会から献金を受けている事実を示しながら、「犯罪者」という言葉を使い批判していた。

今回の報道では足立議員の「犯罪者」発言についての対応が報じられ、加計問題そのものは報じられなかったため、放送法第 4 条の見地からの検証の対象とはしなかった。

「印象操作」に関する所見（最高裁判例の見地から）

特になし

検証者所感

特になし

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23　週刊報告　創刊特別号　詳細版(中)

テレビ局：　TBS	番組名：NEWS23	放送日：2017 年 11 月 17 日

出演者：雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙
星キャスターは取材のため休み

検証テーマ：所信表明演説、足立康史議員「犯罪者発言」

報道内容要旨

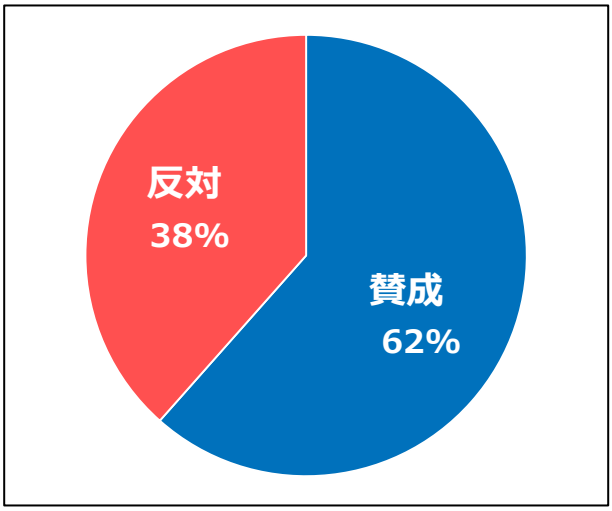
【報道内容要旨】

・日馬富士の暴行事件、初の事情聴取
・埼玉県で小 6 女児死亡、自殺の可能性
・日産”無資格の従業員”検査についての報告書、不正検査は 90 年代から常態化
・【異変アリ】学校教育の歴史用語、削減か　竜馬も消える？
・特別国会で所信表明演説への賛否
・足立議員「犯罪者発言」を謝罪
・中国共産党の特使が北朝鮮を訪問
・声優・鶴ひろみさん（57）死去
・スポーツ報道
・天気予報
・神戸開港 150 周年を記念、樹齢 150 年のクリスマスツリー

検証報告（放送法第 4 条の見地から）

・所信表明演説

総理による所信表明演説部分およびこれを肯定的に紹介したシーンを「賛成」、所信表明を批判的に取り上げたシーンおよび野党の批判意見の部分を「反対」として計測した。賛否の時間配分及び比率は以下の通りである。



賛否の比率を見るに、放送法四条の観点に照らしても特に問題とは言えないと考えられる。

放送法遵守を求める視聴者の会

・足立議員の発言 　今回は足立議員の発言の撤回および謝罪、立憲民主党による懲罰動議の提出という経緯が淡々と報じられたため、加計学園問題やこの発言自体での論点は触れられなかった。
「印象操作」に関する所見（最高裁判例の見地から） 　特になし
検証者所感 　足立康史衆議院議員に対しては今回で五回目と懲罰動議の提出であるが、そもそも懲罰動議とはいかなるもので、これが提出されることでどういったことになるのか、という点についてはもう少し説明があっても良いのでは、と感じた。

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23　週刊報告　創刊特別号　詳細版(中)

テレビ局：　TBS	番組名：NEWS23	放送日：2017 年 11 月 20 日

出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙

検証テーマ：国会代表質問

報道内容要旨

・冬将軍

・日馬富士暴行事件に、新たな疑問

・中国特使の訪朝

　スタジオでは「テロ支援国家」についての説明がなされていた

・ロボットが宙返り、進化するロボット技術

・国会代表質問

　スタジオでは安倍-岸田関係と岸-池田関係の共通点について言及された

・座間九人遺体事件、容疑者を再逮捕

・煽り運転を摘発

・食物アレルギーと経口免疫療法

・スポーツ報道

・天気予報

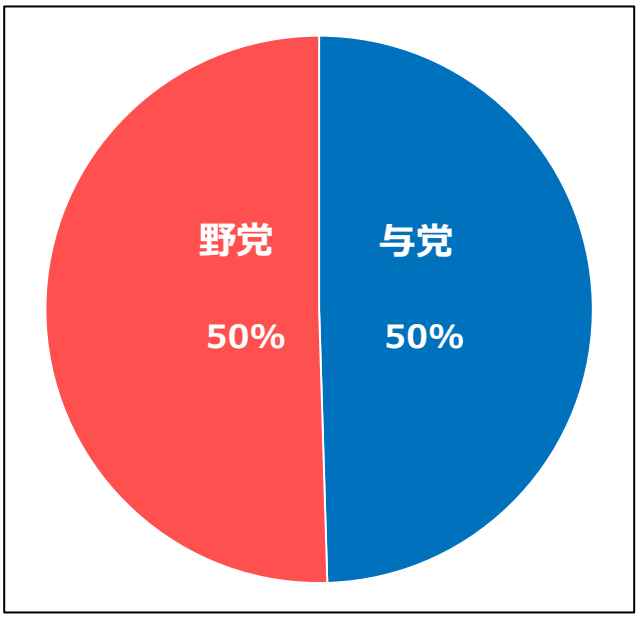
・つくばエクスプレス 20 秒の誤差にお詫び、海外メディアから驚きの声

検証報告（放送法第 4 条の見地から）

・国会代表質問

　与党と野党のそれぞれ報じられた質疑時間を比較した。時間配分及び比率は以下の通りであった。

　与党：52 秒、野党：53 秒、なおどちらでもない場面が 115 秒あった。



　与野党バランスよく取り上げており放送法四条の観点からも特に問題はないといえるだろう。

放送法遵守を求める視聴者の会

「印象操作」に関する所見（最高裁判例の見地から）

特になし

検証者所感

スタジオでは安倍-岸田関係が半世紀前の岸-池田関係や政権交代に似ていると指摘した上で「57 年前に何があったかといいますと、安保改定っていう大騒ぎがありましてね、その中で混乱の中で岸さんは退陣ということで、その後継になった石田さん、池田さんはですね、寛容と忍耐というのを掲げましてですね、まぁあの非常に国民の人気を集めになったということなんですね」と星キャスターがコメントし、池田勇人首相の「私はそれでこの寛容と忍耐、話し合いの政治というのをやっていこうと、今後も続けていきたいと思っています。問答無用ということは絶対にいかんということなんだ、だからできるだけ話し合いをしていく」という当時の発言の映像が紹介された。

これについて気になった点が２点ある。

１点目は、池田勇人首相の発言である。岸から池田へと政権交代が行われた直後には岸元総理は右翼からの襲撃を受け、また第一次池田内閣のもとでの解散総選挙では選挙前に日本社会党の党首だった浅沼稲次郎が暗殺されるという事件があった。こうした治安情勢があった上での「寛容と忍耐、話し合いの政治」、「問答無用ということは絶対にいかん」という言葉であって、そのあたりの背景事情を省いては随分と意味合いや重みが変わってくると思う。

２点目は星キャスターが「池田さん」を「石田さん」と言い間違えた点だが、これは「ポスト安倍は石破と岸田」というのが念頭にあったからこその言い間違えなのかな、と聞いていて感じた。

※11/1(水)～11/10(金)の放送については上巻、11/21(火)～11/30(木)の放送については下巻で報告書をまとめています。

放送法遵守を求める視聴者の会